

読書の小径

こみち

No.66



「月」

市図書館 ☎1253

11月の休館日

日	月	火	水	木	金	土	日
	2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28	29	30

※ が休館日です

開館時間

火～金曜日……………10:00～19:00
土・日曜日、祝・休…10:00～17:00

※図書館のご利用は無料です

これから冬にかけて空気が澄んできて、月を眺めるには良い季節になります。ただ眺めるのもいいですが、次に紹介する本を読んでから月を見るのはいかがでしょうか。

白尾元理『月のきほん』は40年以上も月の写真を撮影している著者による、月の基本的な知識を65項目にまとめた解説書です。月がなぜ満ち欠けるのか、月の呼び名、月の軌道、月の出・月の入り、太陽太陰暦、二十四節気、そして月の歴史、さらには月の石の入手方法まで易しく解いています。

最新の月に関する研究成果



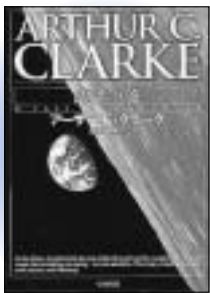
を素人にも分かりやすく解説したのが、渡部潤一編著『最新・月の科学―残された謎を解く―』です。例えば、月の起源についての4つの仮説を問題点とともに整理、紹介しています。最近有力とされているのはジャイアント・インパクト説だそうです。原始地球に火星規模の別の天体が衝突、合体し、その際に飛び散った破片が月を形成するものになったというのです。

かつて本格的な月面探査が行われるまでは、月の細かい砂（レゴリス）は重い物を支えられないのではないかといわれていました。中には、レ



ゴリスは特殊な電磁気的條件により水のように流動していると考えられる仮説まで出されました。アーサー・C・クラーク『渴きの海』は、この仮説に基づき書かれています（原著の出版は1961年）。月面を覆う微細なレゴリスをため込んだくぼ地である「渴きの海」。物語は、突発的な自然現象に巻き込まれ「渴きの海」の中、深く没してしまつた月面観光船の息詰まる救助活動を迫る筆致で描きます。NHK「プロジェクトX」が好きな人にはお勧めです。

好きな人にはお勧めです。



11月

催し物だより

陶史の森 ナイチャーセンター ☎5144

●秋の天体教室

日時 11月8日(土)

午後7時～9時

(雨天中止)

内容 上弦の月と秋の星座観察

対象 家族・一般

※事前に申し込みが必要

●草木リース作り教室

日時 11月9日(日)

午前9時～11時30分

内容 木の実や葉を使ったリース作り

対象 小中学生・家族

※事前に申し込みが必要

●バードウォッチング

日時 11月23日(日)

午前9時～11時30分

(雨天中止)

内容 秋の野鳥観察

対象 家族・一般

お願い 陶史の森は、動植物を保護しています。山野草やミズゴケなどを絶対に採らないでください。また、陶史の森およびせせらぎ公園へのペットの立ち入りはご遠慮ください。



ジョウビタキ♂
10月中旬、北方から飛来。
目立つ所に止まって「ヒッヒッ」と澄んだ声で鳴く。
翼に白い紋。腰と尾の両側は赤褐色。

